

朝の館内放送

令和4年12月5日

おはようございます、市長の中村健です。

現在、サッカーW杯のカタール大会が行われており、日本代表の活躍に大興奮という人も多かったことでしょう。

私自身、コスタリカに負けた時点で決勝トーナメントへの進出は絶望的だと思ってしまいましたが、代表選手の面々は周囲からの批判をさほど気にすることなく、スペイン戦で勝利できると心の底から信じ、それを実現した姿に感動しました。

また、当日はネットもテレビも新聞も日本代表の活躍一色で、スポーツが人々の心を与える力の大きさを改めて認識しました。

日本代表の戦いから私たちの仕事に活かせる要素はいくつもあるのですが、その中の一つとして、「やるべき任務を遂行する」という点を挙げたいと思います。

サッカーの試合で言えば、直接ゴールにつながるプレイに関心が行き、そこにばかりスポットライトが当たる傾向は否定できません。

人間心理としては自然なことなのかもしれません。

しかし、試合全体で見れば、地味な役回りやつぶれ役などがしっかり仕事をしなければ勝利を得ることは難しく、フィールド上のメンバー一人ひとりが求められる役割を高いレベルで遂行できていなければ、今回の快進撃は起こり得なかったと考えます。

私たちの仕事に置き換えて考えれば、華やかに見える業務とやって当たり前と考えられがちな地味な業務、前向きに楽しみながら取り組める業務と精神的な負荷の大きい業務など、様々な仕事があります。

しかし、どの業務も必要性があるからやっているものであり、そこに格の違いがあるわけでは決してありません。

市民のため、市の発展のために、より多くの質の高い仕事をするのが私たちの責務です。

配属先が希望した部署でないこともあると思います。

自分の強みが出せない業務をしなければいけないこともあると思います。

しかし、一人ひとりが与えられた役割を自覚し、それを高いレベルで遂行していくことが、市民のより良い暮らしや市政への期待、信頼に繋がります。

管理職員の皆さんには部下への的確な指導とねぎらいを、管理職でない職員の皆さんには熱意と使命感を伴った各種事業の実施を大いに期待し、朝の館内放送を終わります。